

第3章 分野別施策の展開

基本方針① すべての主体の学びと参加・協働による暮らしの変革



子どもから大人まであらゆる世代が学び、対話することで、地域に対する愛着心や環境問題を自分事として捉える環境意識が高まり、自発的に取り組む人や組織が増え、持続可能な地域づくりに関わる活動が広がっていくまちを目指します。

基本施策	目指す方向性
1-1. ライフステージに応じた環境教育の推進	子どもから大人まであらゆるライフステージに応じた情報提供や環境学習が行われています。

1-1-1	○あらゆる世代への環境プログラムの展開 市民団体や事業者と連携し、子どもから大人まであらゆる世代を対象にした環境教育プログラムを展開します。
1-1-2	○子どもたちへの環境教育の充実 自然環境調査により得られた情報を元に、市民、特に次世代を担う子どもたちを対象とした環境教育への活用を図ります。

■関連する主な方針・事業等

◇奈良市環境教育基本方針

担当課：環境政策課

環境問題が深刻・多様化する中で、本市の豊かな歴史的文化遺産や自然環境がもたらしている“奈良らしさ”を将来の世代にまで引き継ぎ、環境負荷の少ない持続可能な社会を実現するためには、社会経済システムや私たち一人ひとりのライフスタイルを根本から見直す必要があります。そのためには、環境問題に関心を持ち、自ら考え、具体的な行動を実践する人を育てる環境教育が重要となることから、平成21年（2009年）3月に「奈良市環境教育基本方針」を策定しました。

本方針では、歴史・文化、自然(生物)、水、大気、廃棄物、食、エネルギー、地球環境等の幅広いテーマを対象として、市民・家庭、地域、学校、市民活動団体、事業者、観光客等、行政等それぞれの主体が自発的に環境教育を推進するための基本的な方向性や取組を示しています。

◇市民環境講座

担当課：環境政策課

NPO法人 奈良ストップ温暖化の会の会員を講師として、“地球にやさしい暮らし講座”というテーマを掲げ、主に将来を担う幼稚園児・小学生及びその保護者等を対象に、地域密着型の出前講座を実施しています。令和4年度（2022年度）は放課後子ども教室や自治会等において延べ5回開催し、参加者は延べ102人でした。

◇環境出前講座

担当課：環境政策課

奈良市地球温暖化対策地域協議会の環境教育プロジェクトでは、様々なNPO・事業者等の会員が講師となり、子どもから大人まであらゆる人を対象とした環境出前講座を実施しています。令和4年度（2022年度）は幼稚園、保育園、こども園、小学校、バンビーホーム、児童館及び地域の団体等で延べ25回実施し、参加者は延べ658人でした。



◇国民運動「COOL CHOICE（＝賢い選択）」普及啓発

担当課：環境政策課

「COOL CHOICE」とは、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、環境負荷の少ない製品への買換えやサービスの利用など、日々の生活の中で「賢い選択」をしていこうという取組です。その取組の普及啓発を地域住民や各種団体と連携して実施しました。



◇おしえてECOキッズ！・あつまれECOキッズ！

担当課：環境政策課

「おしえてECOキッズ！」として、小学3～6年生を対象にエコアイデアコンテストを実施し、エコアイデア・エコ発明部門64作品、おもしろエピソード部門10作品、合計74作品の応募の中から28作品を最優秀・優秀・入選として選考しました。

「あつまれECOキッズ！」として表彰式を開催するとともに啓発コーナー・体験コーナーで多くの子どもたちに楽しくエコを学んでもらう機会とし、約400人が来場しました。



1-1-3	<p>○SDGs 実現に向けた課題解決力の強化</p> <p>地域について深く学ぶことを通して、教科、領域を横断した知識や技能を融合し、自ら課題を見つけ論理的思考により解決することができる子どもを育成し、SDGs の実現に取り組んでいきます。</p>
-------	---

■関連する主な事業等

◇探究学習

担当課：学校教育課

市立小・中学校の総合「なら」の取組において、地域を題材として、社会・自然・人と関わる活動や様々な体験活動の推進を支援しています。SDGsを意識した取組を一層進めるために、各学校でのSDGsを意識した特色ある取組を、世界遺産学習全国サミットや世界遺産学習リレー講座において、広く周知しています。

第13回世界遺産学習全国サミットをオンラインにて開催し、学校関係者、関係団体、保護者、児童生徒など延べ500名を超える方々に参加いただきました。参加者を対象としたアンケートでは、すべての項目で90%以上の肯定的な回答を得ることができました。教員向け研修「世界遺産学習リレー講座」を7回実施し、延べ約150名の教員が参加し、SDGsを意識した世界遺産学習について学びを深めることができました。



基本施策	目指す方向性
1-2. 地域愛着心・環境意識の向上	地域に対する愛着心や環境問題を自分事として捉える環境意識が高まり、自発的に取り組む人が増えています。

1-2-1	○環境意識を高める講座の開催 市立小学校3年生を対象とした環境講座「ECO キッズ! ならの子ども」事業など、子どもを対象とした環境教育を実施することにより、次世代を担う子どもたちの環境意識を高め、環境に配慮した暮らしを日常的に実践する人材を育成します。
-------	--

■関連する主な事業等

◇環境講座「ECO キッズ! ならの子ども」 担当課：環境政策課/学校教育課

子どもの視点からライフスタイルを見直し、次世代の省エネルギー、エコライフスタイルを推進する人材を育成することを目的として市立小学校3年生を対象とした環境講座「ECO キッズ! ならの子ども」を実施しています。

環境教育に専門知識を有し、日頃から出前講座を経験している市民団体等を講師として迎え、省エネルギーや地球温暖化防止等の環境に関するカリキュラムを市の共通プログラムとして開発し、講師独自で開発した「食べ物」、「森林」、「エネルギー」、「生き物」をテーマとしたカリキュラムを個別プログラムとして組み合わせ、出前授業を実施しています。

◇「環境の日」及び「環境月間」 担当課：環境政策課

6月5日は環境の日です。これは、1972年（昭和47年）6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」で「環境の日」と定めています。さらに、6月を「環境月間」とし、全国で様々な行事が行われています。

本市においては、環境にやさしいライフスタイル及び身近な環境配慮行動の実践を呼びかけるため、奈良市役所、西部公民館及びはぐくみセンターでの啓発パネル展示のほか、奈良しみんだよりへの啓発記事の掲載を行っています。

◇「大気汚染防止推進月間」・「地球温暖化防止月間」 担当課：保健・環境検査課/環境政策課

12月は自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房のほか、気象条件の影響等により、大気汚染物質濃度が高くなる傾向があることから、環境省では、毎年12月を「大気汚染防止推進月間」として、きれいな空を守ることの大切さを呼びかけています。また、平成9年度（1997年度）に地球温暖化防止京都会議が開催されたのを受けて、平成10年度（1998年度）から12月を「地球温暖化防止月間」としています。

そこで、12月が「大気汚染防止推進月間」及び「地球温暖化防止月間」であることを周知し、大気汚染防止ならびに地球温暖化防止の意識高揚を図るため、「奈良しみんだより」への記事掲載のほか、奈良市役所、はぐくみセンター及び西部公民館で啓発パネルを展示しました。

◇「水質改善強化月間」

担当課：保健・環境検査課

冬季、特に2月は降水量が少ないことにより川の流量が減少し、水質が悪化しやすくなるため、毎年2月を水質改善強化月間に定めています。

水質汚濁の原因の約70%が家庭からの生活排水であることから、水質改善の意識の向上を図るため、そして生活排水対策を呼びかけるための啓発活動として、奈良市役所、はぐくみセンター及び西部公民館で啓発パネルを展示し、市役所に設置されている広告モニターを用いて啓発を行いました。なお、近鉄奈良駅前及びJR奈良駅前街頭キャンペーンを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。

1-2-2	○持続可能な地域づくりの担い手の創出 SDGs の考え方をもとにワークショップ等を実施することにより、幅広い視点を取り入れた環境教育を推進し、地域愛着心や環境意識の向上を図るとともに、持続可能な地域づくりに向けた担い手の創出に努めます。
-------	---

■関連する主な事業等

◇動き出す SDGs2050 持続可能な地域を一緒につくるワークショップ 担当課：環境政策課

持続可能な地域づくりに向けてさまざまな取組を進めている学識者・起業家の講演やワークショップを行いました。

第1回	令和4年8月27日（土曜日）
テーマ	『地球と共に創ろう』
概要	ストーリーテリング（※）を通じて、自分や他者の「根っこ」とつながるワークを行いました。自分自身の中の大切なものを探って話すことで自分の根っこつながり、相手の語りを傾聴することで仲間の根っこつながります。また、生態系全体を含めた地球とのつながりを体感するアクティビティとして、春日大社一の鳥居周辺にて感性をひらくワークを行いました。それらを通じ、それぞれが肩書きや立場をはずした、「コクリエティブ（共創的）な状態」を体感しました。 ※ストーリーテリング…「物語を語り伝えること」。語り手が、相手に伝えたい思いやコンセプトなどを、印象的な体験談あるいはエピソードなどの「物語」を引用し、例示することで聞き手に聞かせる手法のこと。
ゲスト	三田 愛氏 (株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター研究員 兼 サステナビリティ推進室/「コクリ！プロジェクト」創始者/英治出版株式会社フェロー)

第2回	令和4年9月10日（土曜日）
テーマ	『サーキュラー視点で見る世界』
概要	欧州を中心に世界中に広がるサーキュラーエコノミー（循環経済）の最新の潮流を、理論と実践を行き来しながら学びました。その後、グループで奈良の街を散策したり、各々の経験を元に意見を出し合っ、奈良にある題材をとりあげ、サーキュラーになる取組を考えるワークを行いました。サーキュラーな視点で奈良のフィールドを眺め、今まで見過ごしてきたモノ・コトに光を当て、多様な領域の仲間とともに、それぞれを生かしていくストーリーを考えました。
ゲスト	安居 昭博氏 (サーキュラーエコノミー研究者/Circular Initiatives&Partners 代表)

第3回	令和4年10月22日（土曜日）
テーマ	『持続可能な地域へのアクション』
概要	奈良を舞台に、地球や社会にやさしい活動を始めている実践者の講演とパネルディスカッションから事例を学び、活動をはじめていくためのイメージを膨らませ、持続可能な地域をつくっていくためのアイデアを考えました。参加者それぞれが考えてきたアイデアシートをもとに、アイデアについて話し合うグループセッションを行いました。 続いて、提案者がやりたいことを発表し、興味のある人が参加してグループを作り対話を行う「この指とまれ OST（オープン・スペース・テクノロジー）」を行い、奈良の資源と課題をかけ合わせ構想した事業について議論を行いました。
ゲスト	松本 梓 氏（チアフル株式会社 代表取締役／「jiwajiwa」） 保科 政秀 氏（農業生産法人有限会社ポニーの里ファーム 統括マネージャー）



1-2-3	○世界遺産等を通じた学習による持続可能な社会の担い手となる人材育成 世界遺産をはじめとする地域の文化財や伝統文化等について、現地及び博物館等で学ぶことを通して、子どもたちの地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手となる人材を育成します。
-------	---

■関連する主な事業等

◇世界遺産学習推進事業

担当課：学校教育課

市立小学5年生に副読本「奈良大好き世界遺産学習」を配付し、同5年生に世界遺産学習現地学習を実施しています。また、世界遺産や地域遺産等の文化財や環境等をテーマに、SDGsの意識を高める学習を進めています。令和4年度(2022年度)は「第13回世界遺産学習全国サミットinなら」を奈良市にて開催し、「ICTを活用した新しい学びの可能性」をテーマに掲げ、複数の学校によるオンライン交流の様子を公開し、オンライン上での参加型交流会を実施しました。また、オンラインを活用した教員向け研修「世界遺産学習リレー講座」や他市町村の学校との交流を推進することにより、ICTを活用した事業の一層の充実を図り、子どもたちが自分の学びを発信できるよう環境を整えました。

すべての市立小学校にて副読本「奈良大好き世界遺産学習」が活用され、世界遺産学習現地学習における児童アンケートでは、93%の肯定的な回答を得ることができました。第13回世界遺産学習全国サミットをオンラインでは、学校関係者、関係団体、保護者、児童生徒など延べ500名を超える方々に参加いただきました。教員向け研修「世界遺産学習リレー講座」を7回実施し、延べ約150名の教員が参加しSDGsを意識した世界遺産学習について学びを深めることができました。

基本施策	目指す方向性
1-3. 各主体の連携・協働	人や組織がつながり、持続可能な地域づくりに関わる活動が広がっています。

1-3-1	○事業者に対する支援体制の構築 市内事業者の活性化を図り、市全体の経済の活性化や顧客・需要の増加を生み出し、市内での持続的な事業運営ができるように関係団体と連携した支援体制を構築します。
-------	--

■関連する主な事業等

◇事業者及び関係団体に対する各種支援事業等 担当課：産業政策課

長引くコロナ禍により、厳しい状況下にある市内中小企業等に対し、奈良商工会議所等と連携し伴走支援等による支援を通じて市内経済の活性化を図ります。また、各種経済団体に対し補助金を交付します。令和4年度(2022年度)は奈良商工会議所等と連携して、市内中小企業の事業継続支援と販路拡大等の新たな取組への支援を3事業者に対し行いました。

1-3-2	○起業家等への支援による経済の活性化 創業支援施設を拠点とした取組を推進し、起業家や起業マインドを持った人材による新たな事業の創出を支援することで、市内経済の活性化を図ります。
-------	---

■関連する主な事業等

◇BONCHI を拠点とした創業支援事業 担当課：産業政策課

創業支援施設 BONCHI を拠点に、起業を考えている方、新しいことを始めたい方や自分らしいはたらき方・生き方を模索したい方を支援しています。創業支援施設 BONCHI を拠点としたイベントを通して新しい人・コトと出会い、アイデアを誰かに話して磨く、実験的にワークショップを開き、事業・活動を立ち上げるといった、「出会う」「磨く」「試す」「始める」のサイクルを生み出すことで、「ひとりでに、持続可能な地域や社会が生まれる場所。」を目指す取組を実施しています。

1-3-3	○セクターを超えたネットワークの形成 市民・市民団体・事業者・行政等のさまざまな主体が連携し、情報共有や更なる取組につながるようなネットワークを形成することにより、持続可能な地域づくりを推進します。
-------	--

■関連する主な事業等

◇奈良市地球温暖化対策地域協議会（通称：ならエコ・エコの和、NEW） 担当課：環境政策課

奈良市地球温暖化対策地域協議会は、地球温暖化対策の推進に関する法律第40条第1項に基づく組織で、平成20年（2008年）10月26日に設立されました。市民、事業者、行政等が対等な立場で和をもって協議し、パートナーシップにより地球温暖化対策等の活動を推進することで、環境（エコロジー）も経済（エコノミー）も持続可能な社会をめざしています。当協議会では、省エネ・創エネの推進、

環境教育の推進、3Rの推進、公共交通機関の利用促進等のプロジェクトが進められています。

(1) エコエコサロン「落語&シタール プラス地球環境対談」

令和5年2月21日(火)に、奈良市ならまちセンター市民ホールにおいて、奈良市出身の桂文鹿さんによる落語、石濱匡雄さんによるシタール演奏、及び桂文鹿さん・石濱匡雄さん・奈良市地球温暖化対策地域協議会 副会長の吉田誠宏さん・同幹事の許斐喜久子さんによるエコ対談を実施しました。参加者は105名でした。



(2) 「茶話～タイムズ」の発行

COOL CHOICE 普及啓発冊子として、「エシカル消費」をテーマに、エコや環境に気付いてもらうための情報誌「茶話～タイムズ COOL CHOICE」を2,000部作成し、市公共施設に設置するとともに、おしえてECOキッズ!作品展示会等において配布しました。

